

バーコードを利用した生産管理システムの一例

➢ 資材発注(照会)

- ・事務所で発注した資材・納期・数量の確認ができる

➢ 資材入荷

- ・入荷した資材に、管理用の入荷NO.(バーコード)・資材のロットNo.・保管場所・数量を記載したラベルを印刷し、資材に貼り、生産時に備える



➢ 資材在庫

- ・入荷ラベルを読むことにより、棚卸が簡単に行える

➢ 生産計画

- ・受注状況・適正在庫数・納期などから生産数を自動的に計算しバーコード付きの作業指示書を作成する

➢ 生産工程

- ・各工程の作業開始・終了毎に作業指示書のバーコードを読むことにより、工程を管理する
- ・資材を使用する際に、入荷時に貼ったバーコード付きラベルを読むことにより、在庫や資材のロット管理を行う
- ・万が一資材の不良が発生した場合でも、使用した製品がすぐに検索できる
- ・製品の完成後、保管場所やバーコード付きのラベルを作成し、製品に貼り出荷に備える



資材発注・入荷
状況画面

品名	数量	単位	発注日	納期	発注先
10000000000000000000	1000	個	2000/01/01	2000/01/15	東京支店
10000000000000000000	2000	個	2000/01/01	2000/01/15	東京支店
10000000000000000000	3000	個	2000/01/01	2000/01/15	東京支店
10000000000000000000	4000	個	2000/01/01	2000/01/15	東京支店
10000000000000000000	5000	個	2000/01/01	2000/01/15	東京支店

資材入荷

生産ライン



事務所

製品出荷

指示情報	指示番号	指示品名	指示数量	指示単位	指示場所	指示日	指示時刻	指示者
0001	0001-0001-01	0001	1000	個	0001	2000/01/01	0001	0001
0002	0001-0001-02	0002	2000	個	0001	2000/01/01	0001	0001
0003	0001-0001-03	0003	3000	個	0001	2000/01/01	0001	0001
0004	0001-0001-04	0004	4000	個	0001	2000/01/01	0001	0001
0005	0001-0001-05	0005	5000	個	0001	2000/01/01	0001	0001

製品進捗
画面

➢ 製品受注

- ・EDIやメールにて添付されたCSVファイルより自動的に受注データを作成
- ・受注番号をバーコード化した受注伝票を作成

➢ 製品売上

- ・出荷データより、売上伝票を作成

➢ 製品工程

- ・生産工程が把握できるため、お客様の納期回答が現場に確認しなくても可能

➢ 資材発注(MRP)

- ・受注状況や在庫数から自動的に必要な数量を計算し発注



➢ 製品出荷指示

- ・在庫数が受注数を満たした製品から、出荷指示書を作成する

➢ 製品出荷

- ・出荷指示書には製品の保管場所が記載されており、すばやい出荷が可能
- ・受注伝票(出荷指示書)・製品完成時に貼りつけたバーコードを読み、出荷



➢ 製品在庫

- ・入荷ラベルを読むことにより、棚卸が簡単